

こころ なか さま はな
心の 中で イエス様と お話する



さま
イエス様、
あい
愛しています！

さま
イエス様からの メッセージ



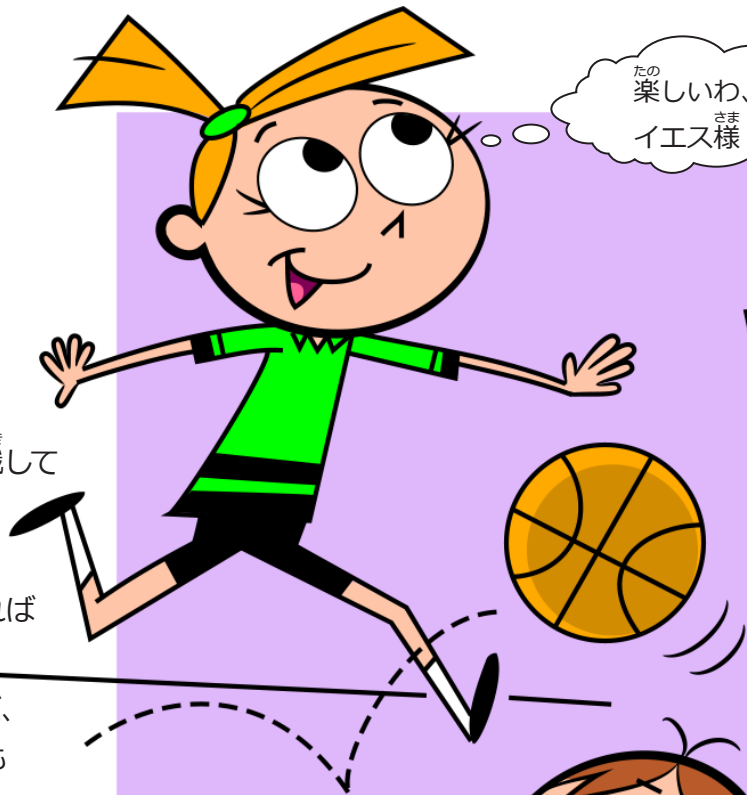
おいしいなあ！
さま
イエス様、
ありがとう！



さま
イエス様、
おはよう！

わたしは、
きみ した とも
君の 親しい 友だちに
なりたい。君が 何を
している とき
時でも、いつも
きみ こころ なか
君の 心の中に
いたいんだ。それは、
かんが に
考えることと 似ている
かな。君は、いつも
なに かんが
何かを 考えている
だろう？ それなら、
じぶん ひとり
自分一人だけで
かんが
考えてないで、わたしと
いっしょに かんが
考えて
みようよ。

なに かんが
何かを 考えるとは、
へ や ひとり
部屋で 一人っきりの
とき じぶん はな
時に 自分と 話している
ような ものだね。だけど、
わたしも 君と いっしょに
そこにいる。君が 何を
かんが とき
考えている 時でも、
わたしは 君の 思いや
そうぞう なか
想像の 中に いたいんだ。
きみ かんが
君は ただ、 考えている
とき
時、わたしの ことも
いっしょに かんが
考えて
くれれば いいんだよ。



たの
楽しいわ、
イエス様！



さま てっだ
イエス様、手伝って
くださって、ありがとう！

さいしょ いしき
最初は、意識して
きみ おも
君の 思いを
わたしに
さ む
差し向けなければ
ならないかも
しれないけれど、
わたしが いつも
きみ
君と 一緒にいる
ことが よく 分かったら、
わたしの 名前を 呼ぶ
ひつよう
必要さえ ない。ただ、
ふつうに 話したり、
みみ
耳を かたむければ
いいんだ。わたしたちは
一緒にいるの
だから、おたがいと
はな
話していることは、
わ
分かっているからね。
そんなに たんじゆん
単純な
ことなんだ。



さま
イエス様、いつも
一緒に いてくれて、
うれしいな。

いま
じゃあ、今 わたしと
おしゃべりしよう。
なに しつもん
何か わたしに 質問して
ごらん。それが、何かを
はな なに
話してくれるのでも
いいよ。その後は、
あと
立ち止まって、わたしが
なに い みみ
何を 言うか、耳を
かたむけてごらん。